

東南村山からおいしさを極める！ おいしい米づくり情報

第3号 育苗後期編

発行：令和 5年 4月 24日
山形おいしさ極める！米づくりプロジェクト村山地域本部
村山総合支庁農業技術普及課
(TEL:023-621-8295)

気温の変化に注意して、育苗管理を行いましょよう！

天候は、数日周期で変わる予報です。(気象庁 一ヶ月予報 4/20 更新時)

育苗ハウス内の**急激な温度上昇**に注意！きめ細やかな**温度管理**で健苗を育てましょよう！

育苗期間の温度管理

時期	昼間	夜間
出芽期	30～32℃	
緑化期(1.5葉期まで)	25℃	15℃
硬化期(1.5葉期以降)	20～25℃	8℃以上

- ・ハウス内および苗床に温度計を設置し、こまめに温度を確認ましょよう。
- ・アルミ蒸着シートの利用でも、地温の上昇を抑えられない事例があるため、高温時には換気を行い、適温に管理ましょよう。
- ・**覆土から5～10mm 出芽したら、被覆資材を撤去**ましょよう。
出芽揃い後も長期間被覆を続けると、苗の軟弱徒長に繋がります。
- ・苗が徒長すると充実度が低下するため、育苗ハウスの空気を入れ替えて温度を調節ましょよう。
- ・移植1週間前からは霜の心配がない限り**夜間もハウスを開放**ましょよう。

育苗期の水管理

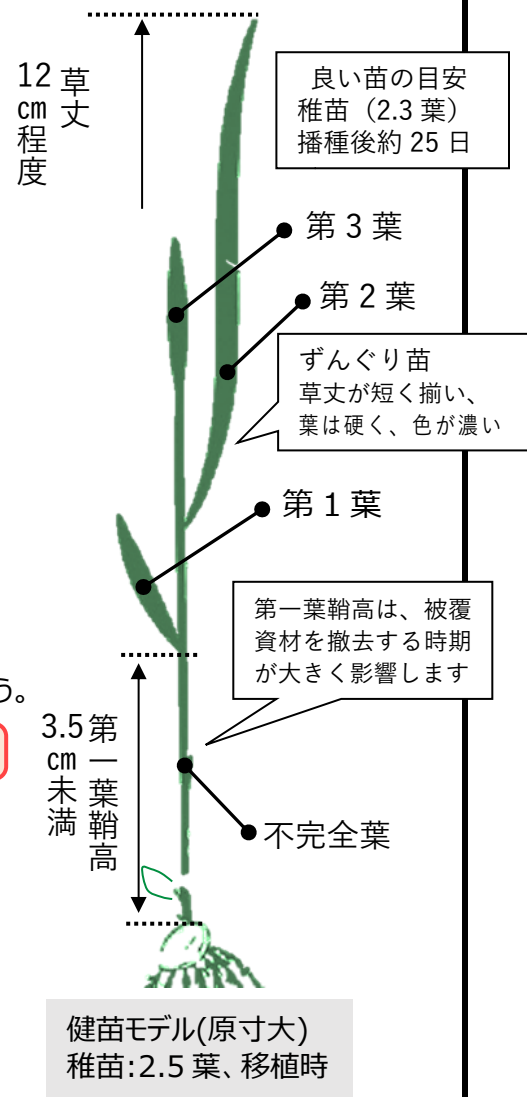
徒長防止のため、苗の過保護は厳禁!!

- ・かん水は**十分な水量を早朝に1回**が基本です。
夕方のかん水は、床土温度を下げるので**厳禁**です。
- ・プール育苗は稲 1.5 葉期に床土の高さまで入水ましょよう。
稲 2.0 葉期以降の水深は、箱上 1cm が目安です。

育苗期の追肥

苗の種類	育苗期間	追肥時期	追肥量の目安
稚苗 (移植：2.5葉)	20～25日	1.8葉期	窒素成分1g/箱を目安に施用ましょよう。 窒素成分10%の液肥では、原液を100倍希釈して、1ℓ/箱を施用ましょよう。
中苗 (移植：3.5葉)	30～35日	1回目：2.0葉期 2回目：3.0葉期	

- ・育苗培土に緩効性肥料(育苗一発肥料)を使用した場合は、追肥の必要はありません。



育苗期間の病害

- ・出芽を揃え、温度管理やかん水を適切に行い、病害を発生させない環境づくりが大切です。
- ・**カビの発生や、苗の生育異常**が見られる場合は、早めにご相談ください（電話：023-621-8295）。

病原菌	ピシウム	フザリウム	リゾプス	トリコデルマ	苗立枯細菌病 もみ枯細菌病
病徴 (写真)					
主な症状	稲2～3葉期の 萎凋症状、ムレ苗	白～淡紅色カビ (籾周辺)	覆土を覆う白色 カビ(出芽緑化期)	白色～青緑色カビ (床土や籾周辺)	第2葉葉身基部の黄 白化、枯死、坪枯れ
多発 条件	・ 出芽～緑化期の低温 ・ 湿度の変動が大きい	・ 高温多湿 (出芽時33℃以上) ・ 窒素過多	・ 高温多湿 (出芽時33℃以上) ・ 窒素過多	・ 緑化開始時の低温 ・ 水分不足 ・ 育苗土の低pH	・ 高温多湿(出芽後) ・ 育苗土の高pH
対策	・ 低温を避け、適切な温度を保つ ・ 多湿にしない	・ 高温、多湿にしない ・ 日光に当てて殺菌 する	・ 高温、多湿にしない ・ 日光に当てて殺菌 する	・ 低温、乾燥を避ける	・ 高温、多湿にしない ・ 発生した場合は 苗を処分

- ・**無加温出芽**では、播種から苗立ちまで時間を要するため、**低温条件が発病を助長**します。
細やかな温度管理(目安：30～32℃)で、出芽を促しましょう。
- ・**高温条件は、苗のヤケや病気(もみ枯細菌病やばか苗病)の発生を助長**します。

高密度播種苗移植栽培について

〈高密度播種苗の特徴〉

- ・慣行苗と比較して、苗丈はやや短く、葉数は少なくなります。
- ・播種量が増えると、発根力が劣り、活着不良や初期生育不良につながる可能性があります。
- ・育苗日数が長くなると、第1葉の黄化、枯死が目立つようになり、生育初期の茎数の増加も緩慢になるため、**移植の3日程度前**に窒素成分量で**約1.0g/箱の追肥**を行うようにしましょう。
- ・**初期生育にリスクを抱える技術**であることを踏まえて、**適正な育苗期間を遵守**しましょう。

※高密度播種苗：播種量 **250～300g** 乾籾/箱程度、育苗日数 **15～20日程度**
慣行苗：播種量 150g 乾籾/箱程度、育苗日数 25～30日程度

～春季農作業事故防止啓発運動 展開中～
4月10日～6月10日
焦らず、きもめず、STOP 農作業事故!!

管内の稲作情報を
LINEに掲載しています!

QRコードを読み込んで、
グループ登録をして下さい。



稲作情報